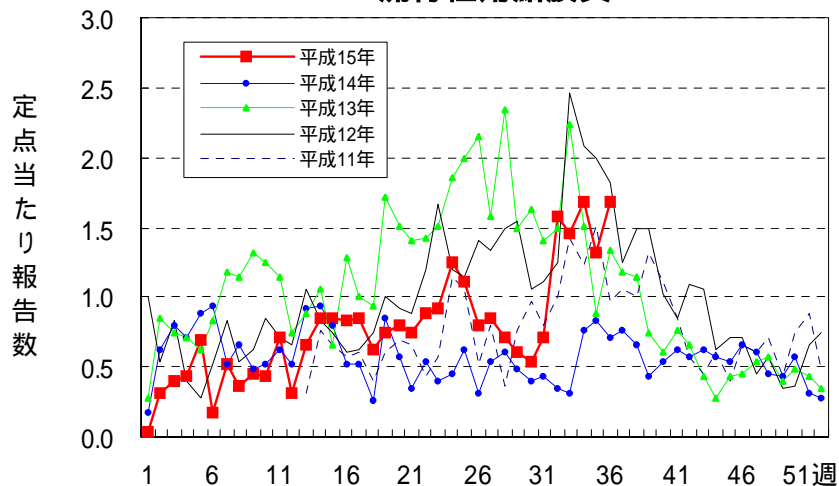


### 流行性角結膜炎



疾患名	前週	今週	備考
<a href="#">流行性角結膜炎</a>	1.3 ↓	1.7 ↑	眼結膜・角膜の炎症を主症状とするアデノウイルス感染症 (重症例では視力障害を残す)
<a href="#">手足口病</a>	1.2 ↓	1.3 ↑	夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。口の中、手や足の先の水疱性発疹
<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	0.8 ↓	0.7 ↓	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
<a href="#">咽頭結膜熱</a>	0.20 ↓	0.25 ↑	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症
<a href="#">マイコプラズマ肺炎</a>	0.38 ↑	0.38 →	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 7 定点からコメントでの患者発生報告あり

定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数
↓ 減少	→ 横ばい	↑ 増加

感染症についての説明及びグラフ総覧については、  
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。  
( <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/> )

### 「急告！風疹の予防接種を急いで受けましょう」

【平成 15 年 9 月 10 日現在】

#### 風疹の予防接種について

風疹は妊娠初期の女性がかかると、先天性風疹症候群の赤ちゃんが生まれる可能性が高いと言われていています（後述の「風疹について」の注を参照）。妊娠中の女性でなくても、かかると希に血小板減少性紫斑病や脳炎という重い合併症を併発することがあり、大人は子供より重症になる場合が多いとされています。また、予防接種を受けていない男性が増えると、風疹の流行が起こりやすくなり、妊娠中の女性へ感染させてしまう危険性があります。

一般的には子供の病気であることから、この風疹の予防接種（ワクチン）は、予防接種法改正に伴い 1995 年 4 月以降、定期接種対象者が従来の女子中学生から、生後 12～90 カ月未満の男女に変更されました。また、接種方法も、これまでの集団接種から個別接種に変更されました。さらに、2001 年 11 月の予防接種法一部改正により、風疹ワクチン（または MMR ワクチン）を受けたことがない人に対する経過措置として、2003 年 9 月 1 日現在 15 歳 11 カ月～24 歳 4 カ月の人は全員が今月末（2003 年 9 月 30 日）までは公費で予防接種を受けることができることになりました。

しかしながら、せっかくこのような経過措置がとられているにもかかわらず、接種対象者の実際の風疹予防接種率は非常に低く、愛知県全体の平均では 13.4%（平成 14 年度）しかなく、接種率が低いと問題になっている全国平均 38.6%（平成 13 年度）の 3 分の 1 しかありません。

また、国の風疹抗体保有状況調査（2001 年度）では、現在 16～17 歳になる人の抗体陽性率は、その前後の年齢層の人達では抗体保有率が 90%以上であるのに対し、70%以下と低いものでした。特に現在 17 歳の女性の抗体保有率は 54.2%と非常に低く、将来、風疹が流行した時にこの年代の女性がこのまま風疹に対する抗体を獲得することなく妊娠した場合、先天性風疹症候群が多発する可能性が非常に心配されています。

すでに述べましたように、2003 年 9 月 1 日現在 15 歳 11 カ月～24 歳 4 カ月の人は全員が公費（予防接種法に基づく定期接種として）で風疹ワクチン接種を受けることができます（10 月 1 日以降は、任意接種として自費で接種を行なうこととなります）。また、風疹ワクチンによる重篤な副作用の報告はほとんどありません。万一、副作用等の健康被害が発生した場合でも、9 月 30 日までは予防接種法に基づき、公費で健康被害救済がなされます。予防接種の受け方等、詳細については、お住みになっている市町村にお問い合わせください。

## 風疹について

### 1 主な症状・感染源・感染経路

「3日はしか」ともいわれます。多くの場合「はしか（麻疹）」より軽い病気です。感染力は強く、学童・思春期に多発します。

主な症状は、

- 1) 小さい紅斑状丘疹（はしかに似た細かい発疹が全身の皮膚に現れますが、融合傾向は少なく、主に顔面、体幹、手足などに出現します。3日位で消失します）
- 2) リンパ腺の腫れ（首のリンパ腺などに現れ、通常発疹の出現よりも数日早く出現して3～6週間で引いていきます）
- 3) 発熱（あっても軽度、38～39 程度で3日程続きます）
- 4) 症状の程度には、個人差があります。
- 5) 体内にウイルスが侵入してから、症状が出るまでの潜伏期は2～3週間です。

風疹感染者・患者の気道分泌物の中に含まれる病原体が、気道からの唾液の飛沫（くしゃみや咳のしぶきなど）として吸入されることによって感染します。風疹ウイルスがのどや鼻から入って起こります。但し感染しても、4人に1人は発病しません。

まれに、関節炎や脳炎になることもあります。妊娠早期の方が風疹に罹患すると、先天性風疹症候群の児を出産する危険性があります（下記の注を参照のこと）。

#### （注）先天性風疹症候群

風疹に免疫の無い妊娠した方が、感染して赤ちゃんに様々な異常（白内障、先天性心疾患、難聴、脳炎、肝炎、貧血、骨の病気、網膜症など）が起こることがあります。

妊娠早期に感染した場合ほど、異常が起こる確率は高く、妊娠1ヶ月で50%以上、2ヶ月で35%、3ヶ月で18%、4ヶ月で8%という報告があります。

### 2 予防について

風疹の生ワクチンの定期予防接種は生後12～90月の方が対象となります（2003年9月30日までは、2003年9月1日現在15歳11カ月～24歳4カ月の人も接種対象）。現在の風疹のワクチンは非常に効果的で95%に生涯の免疫が出来るといわれています。

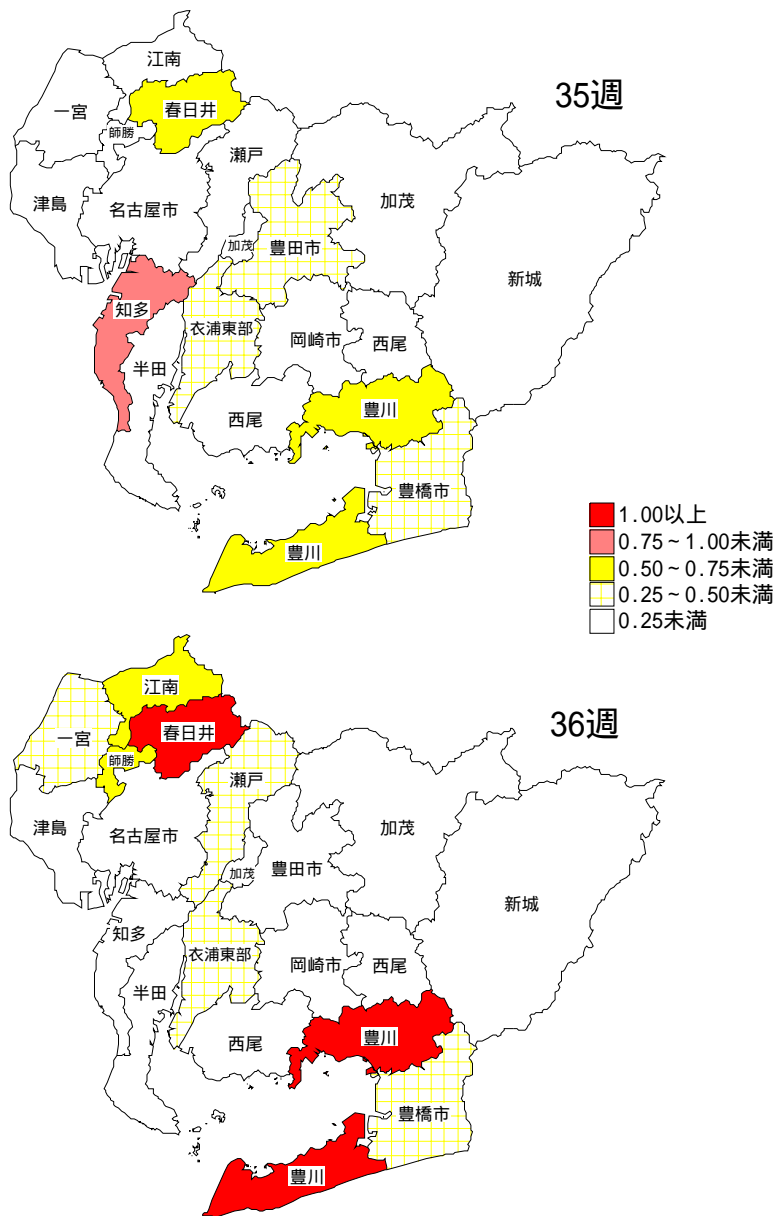
妊娠可能年齢の方が接種を受ける場合は自分が現在妊娠中でないことを必ず確認してください。また、妊娠可能年齢の方はワクチン接種後2～3カ月避妊してください。

### 3 治療について

特にありません。風疹ウイルスに直接作用する治療薬はまだ開発されていません。従って、対症療法が中心となります。十分な栄養（口当たりの良い栄養価の高い食物）と、休養、睡眠などが大切です。「風疹」と診断されたらできるだけ自宅などで休息して下さい。先天性風疹症候群の発生を防ぐために妊娠している方にはできるだけ接触しないよう、ご配慮下さい。

再度に繰り返しますが、この9月1日現在15歳11カ月～24歳4カ月の方で、風疹に罹ったことや予防接種を受けたことが確かでない人は、公費で風疹の予防接種が受けられる今月末まで（9月30日）までに、是非予防接種を受けられることを強くお勧めします。

## 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	36週	定点 当たり	35週	定点 当たり		36週	定点 当たり	35週	定点 当たり
名古屋市	4	0.06	7	0.10	岡崎市	0	0.00	0	0.00
瀬戸	4	0.44	2	0.22	衣浦東部	4	0.36	5	0.45
津島	1	0.14	0	0.00	西尾	0	0.00	0	0.00
師勝	2	0.50	0	0.00	豊田市	1	0.13	3	0.38
一宮	3	0.25	1	0.08	加茂	0	0.00	0	0.00
春日井	9	1.00	5	0.56	豊橋市	3	0.38	2	0.25
江南	4	0.67	1	0.17	豊川	9	1.13	5	0.63
半田	1	0.17	0	0.00	新城	0	0.00	0	0.00
知多	1	0.14	6	0.86					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

病原性大腸菌O1 7歳女

病原性大腸菌O55 2歳女

カンピロバクター 3歳男

アデノウイルス、エンテロウイルス感染症共に落ち着いてきましたが、  
高熱の患者さんもまだ多いです。

【尾西市 城後小児科】

6歳男 マイコプラズマ肺炎

2歳男 感染性腸炎（カンピロバクター）

【一宮市 あさのこどもクリニック】

マイコプラズマ肺炎 8歳女

【稲沢市 野村整形外科】

カンピロバクター 2歳女、5歳女

サルモネラ・エンテリティディス 4歳男

【犬山市 武内医院】

伝染性膿痂疹の患児が多くみられました。

咽頭結膜炎、手足口病、伝染性紅斑、少人数ありました。

一部の保育園で流行性耳下腺炎が流行しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

手足口病がまた多くなってきました。

イネ科の花粉症が目立ちます。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

41歳女 マイコプラズマ肺炎

【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

カンピロバクター + 病原大腸菌O25 3歳男

病原大腸菌O111 2歳男

マイコプラズマ肺炎 7歳男、8歳女

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

流行性耳下腺炎の小流行が続いています（高熱が続く例も数例あり）。

ヘルパンギーナ減少して、あまりみられなくなりました。

アデノウイルス感染症が数例みられました。

マイコプラズマ感染症は相変わらず多くみられます。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

溶連菌感染症とりんご病が少々ありました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性胃腸炎、サルモネラO9 10歳女 1例ありました。

【春日井市 かがわ北病院】

ヘルパンギーナあり。

手足口病減少。

【小牧市 小牧市民病院】

---

エコー18が15年ぶりに分離されています（発疹症、熱性疾患から）。

【小牧市 志水こどもクリニック】

耳下腺炎 散発

下痢著明な胃腸炎多し

【南知多町 医療法人大岩医院】

下痢を主訴に来院する人がなくなりました。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

9歳女 病原性大腸菌O18 サルモネラO8 ベロトキシンは(-)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

---

## 西三河地区

---

9歳男 イムノカードSTアデノウイルス\*(+)

3歳女 病原大腸菌O1

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

\* イムノカードSTアデノウイルス：アデノウイルス抗原検出用キット

4歳男 病原大腸菌O29

【豊田市 田中小児科医院】

8歳男 病原大腸菌O1

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

3歳男 病原性大腸菌O8、O63

5歳男 病原性大腸菌O20

【岡崎市 医療法人深田小児科】

11ヵ月女 病原性大腸菌O1 VT(-)

4歳女 サルモネラO4

10歳男、4歳男 カンピロバクター

3歳女、1歳男 イムノカードST アデノウイルス(+)

11歳男 病原性大腸菌O8 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

3歳女 カンピロバクター、病原性大腸菌O15

3歳男 病原性大腸菌O159

2歳男 病原性大腸菌O1

2歳女 サルモネラO9

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

伝染性紅斑散発

【西尾市 やすい小児科】

2歳男と6歳女(姉弟) 病原性大腸菌O1 VT(-)

【幸田町 とみた小児科】

マイコプラズマ肺炎 11歳男

【三好町 三好町民病院】

---

## 東三河地区

13 歳男、10 歳女（兄妹）、7 歳女、4 歳男、1 歳男（姉弟） マイコプラズマ肺炎

今年の夏は、マイコプラズマ肺炎が多かった。

1 歳男、2 歳男 サルモネラ O9

3 歳男、11 歳男 カンピロバクター

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

4 歳女、6 歳女 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 野村小児科】

7 歳男 サルモネラ O9（チフス菌以外）高熱と下痢あり回復に 1 週間を要す

10 歳男 病原性大腸菌 O1 経過は良好

【田原市 かわせ小児科】

## 1～3 類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

### 腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	津島	52	女		9 / 1	9 / 4	O 157 VT1(+)	
2	知多	31	女	8 / 27	8 / 27	9 / 1	O 157 VT1(+) VT2(+)	
3	知多	12	男	8 / 29	8 / 29	9 / 3	O 157 VT1(-) VT2(+)	
4	知多	43	男		9 / 4	9 / 7	O 157 VT1(-) VT2(+)	
5	西尾	25	女		9 / 2	9 / 2	O 157 VT1(+) VT2(+)	35 週報 の再掲

3、4 の症例は家族内感染

## 全数把握の 4 類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

後天性免疫不全症候群 1 例（無症候性キャリア）

## 第34週(15年8月18日~8月24日)の4類感染症 (全国)

### 小児科定点報告疾患

咽頭結膜熱の定点当たり報告数(0.45)は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去10年間の当該週と比較して第16週以降最高の値となっている。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較しても未だかなり多く、都道府県別では大分県(1.7)、長野県(1.5)、滋賀県(1.3)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週から10週間連続して減少していたが、今週は増加した。過去10年間の当該週と比較して第27週以降最高の値で推移しており、過去5年間の同時期の平均と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(1.6)、鳥取県(1.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(5.1)、青森県(4.7)、山口県(4.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多く、都道府県別では、北海道(0.9)、宮城県(0.8)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けており、都道府県別では愛媛県(4.5)、新潟県(3.7)、宮崎県(3.7)が多い。

### 基幹定点報告疾患

無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は増加して0.14で、都道府県別では鳥取県(1.2)、福井県(0.7)、大阪府(0.7)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加して0.22である。本年は過去3~4年間の報告数に比し高く推移してきたが、第31週以降は昨年、一昨年と大差のない値となっている。都道府県別では山形県(1.1)、和歌山県(0.8)、山口県(0.8)が多い。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供 )

詳細は感染症情報センター - のホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html> ) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。









愛知県感染症情報

2003年第1週～第36週(平成14年12月30日～平成15年9月7日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
計	38,580	977	4,997	18,391	9,147	8,514	1,213	3,814	41	33	4,395	117	3,338	25	689	1	5	9	138	0	4	
～6ヶ月	518	5	11	209	237	71	7	321	6		64	2	2		3							
～12ヶ月	1,096	33	25	1,165	555	412	41	2,302	10	2	410	24	19		13							
0歳																	1		2			
1歳	3,227	157	123	2,822	1,633	1,549	64	1,101	8	4	1,088	25	162		19				13			
2歳	3,245	158	286	2,105	1,546	1,492	106	71	3	2	830	8	261	1	17				13			
3歳	3,321	153	620	2,065	1,701	1,630	131	8	3	1	787	6	513	2	19				12			
4歳	3,516	141	939	1,818	1,611	1,416	177	1	4	3	520	8	660		12				10			
5歳	2,262	126	948	1,419	981	930	192	1	2	5	364	5	648	1	17							
6歳	1,825	70	724	1,044	406	436	169	4			141	7	393		4							
7歳	1,466	45	412	818	164	195	97		1	4	68	3	223		7							
8歳	1,304	35	287	660	109	126	94	3	1	3	30	3	155	1	8							
9歳	1,336	14	163	513	59	61	40			1	34	2	85		5							
5歳～9歳																		2	32			
10歳～14歳	4,859	16	221	1,193	92	88	68	2	2	3	26	16	137	1	28				21			
15歳～19歳	1,573	3	20	325	8	7	1				7	3	12		28			1	4			
20歳～		21	218	2,235	45	101	26		1	5	26	5	68			1	4					
20歳～29歳	2,768													9	119			3	10			2
30歳～39歳	3,054													1	138			1	9			1
40歳～49歳	1,182													2	67			2	5			1
50歳～59歳	892													3	93				1			
60歳～69歳	597													1	52				2			
70歳～														3	40							
70歳～79歳	352																		3			
80歳以上	187																		1			